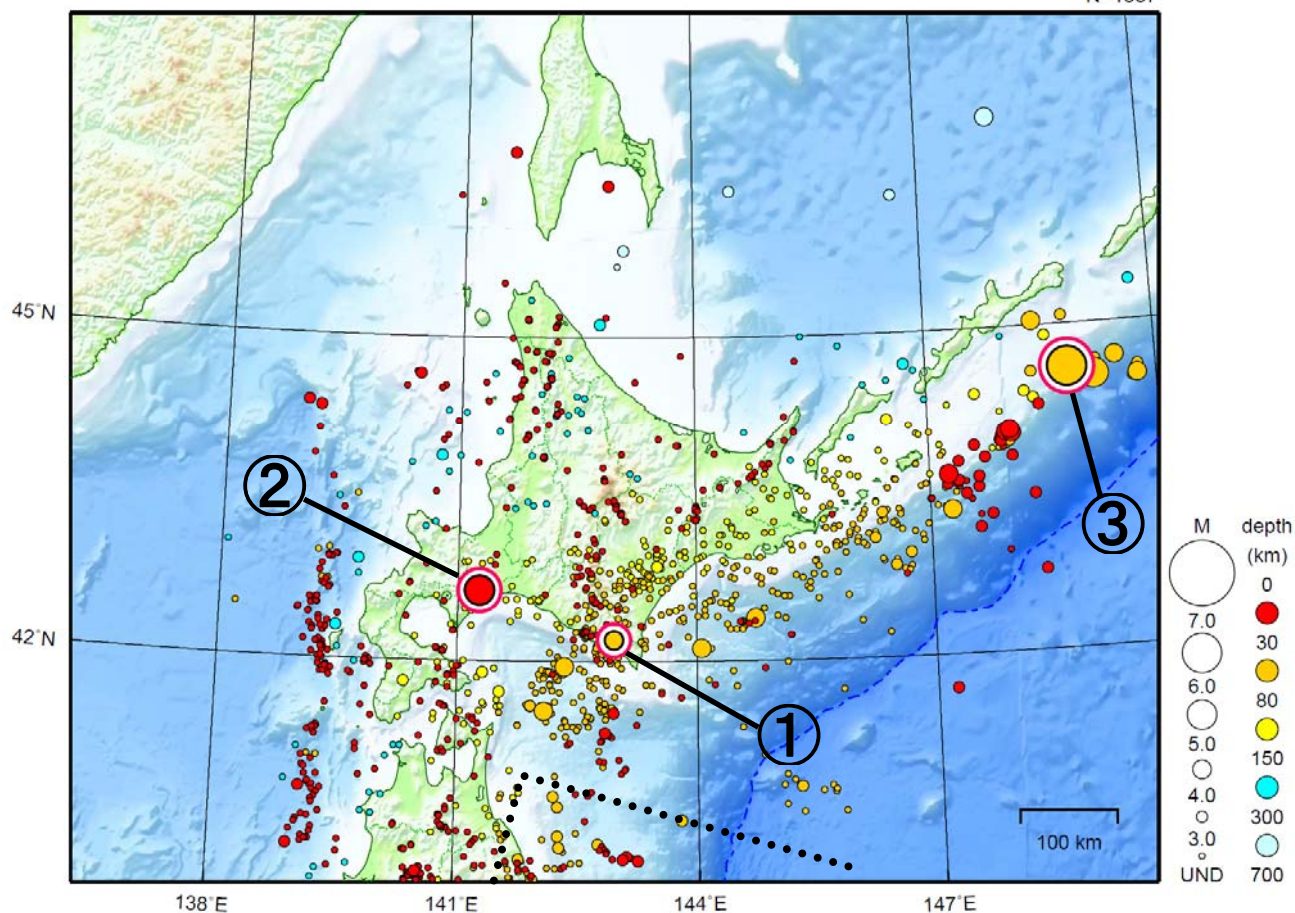


北海道地方

2014/07/01 00:00 ~ 2014/07/31 24:00

N=1837



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 7月6日に日高地方東部でM4.6の地震（最大震度4）が発生した。

② 7月8日に胆振地方中東部でM5.6の地震（最大震度5弱）が発生した。

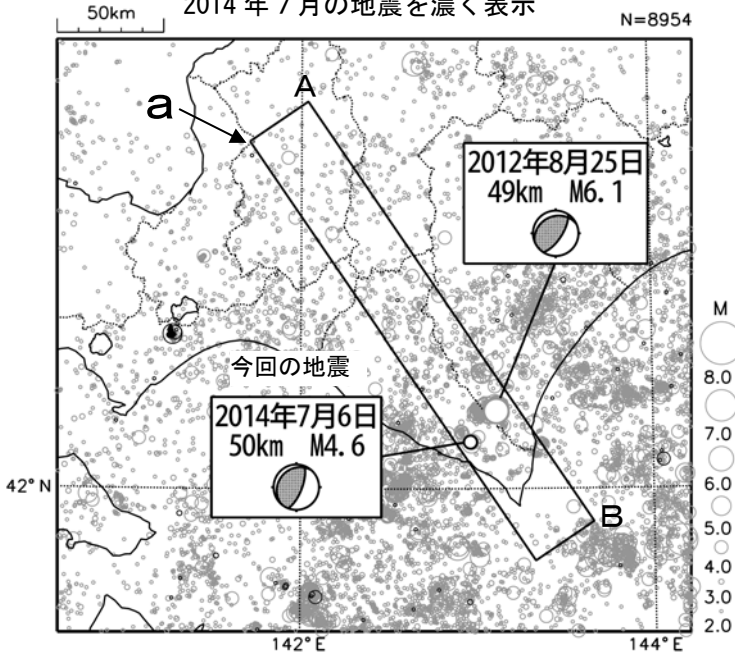
気象庁はこの地震に対して[石狩地方南部]で情報発表した。

③ 7月21日に択捉島南東沖でM6.4の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

7月6日 日高地方東部の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2014年7月31日、
深さ0～200km、M≥2.0)
2014年7月の地震を濃く表示

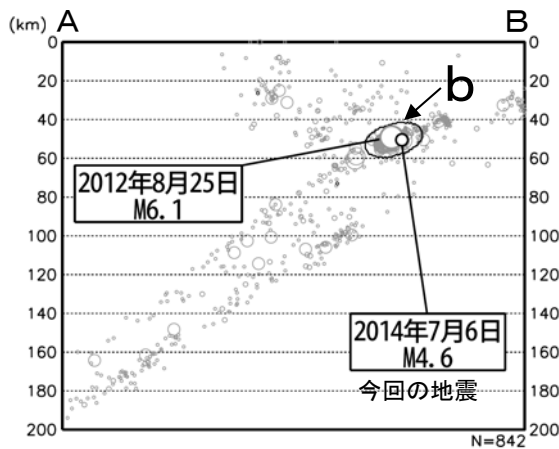


2014年7月6日05時22分に日高地方東部の深さ50kmでM4.6の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

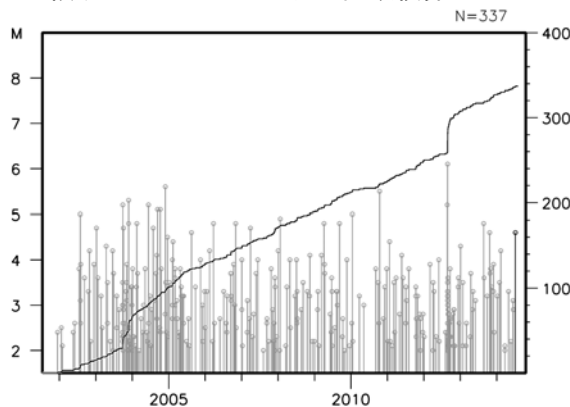
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M5.0以上の地震がしばしば発生している場所であり、2012年8月25日にはM6.1の地震 (最大震度5弱) が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。1982年3月21日には「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 (M7.1、最大震度6) が発生し、負傷者167人、住家全半壊25棟等の被害を生じた (「日本被害地震総覧」による) ほか、浦河で高さ78cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。

領域a内の断面図 (A-B投影)

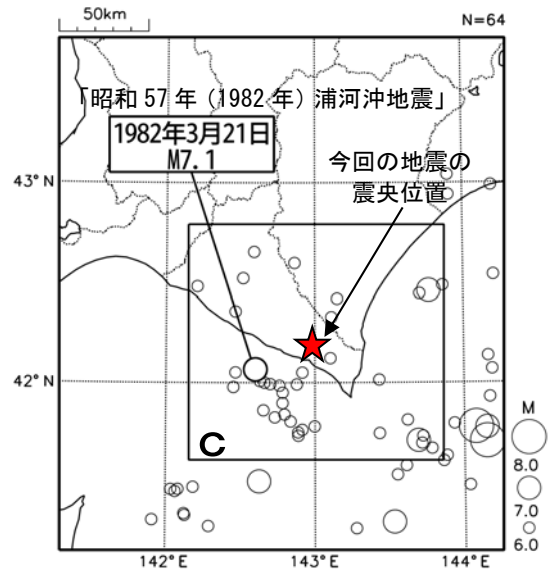


領域b内のM-T図及び回数積算図

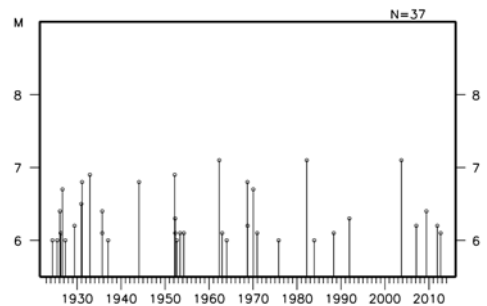


震央分布図

(1923年1月1日～2014年7月31日、
深さ0～100km、M≥6.0)

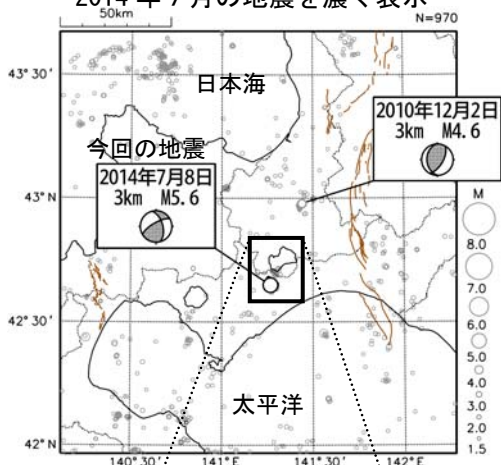


領域c内のM-T図



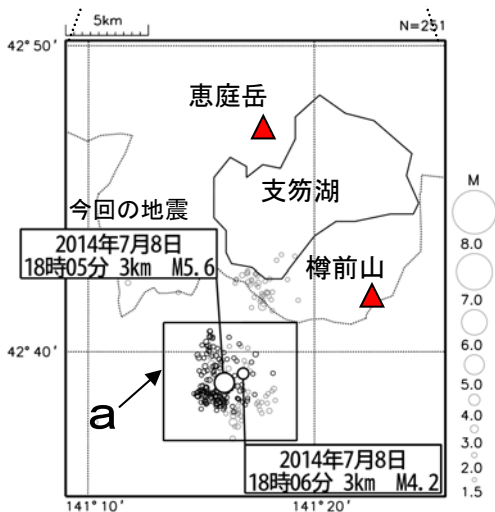
7月8日 胆振地方中東部の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2014年7月31日、
深さ0～30km、M \geq 1.5)
2014年7月の地震を濃く表示

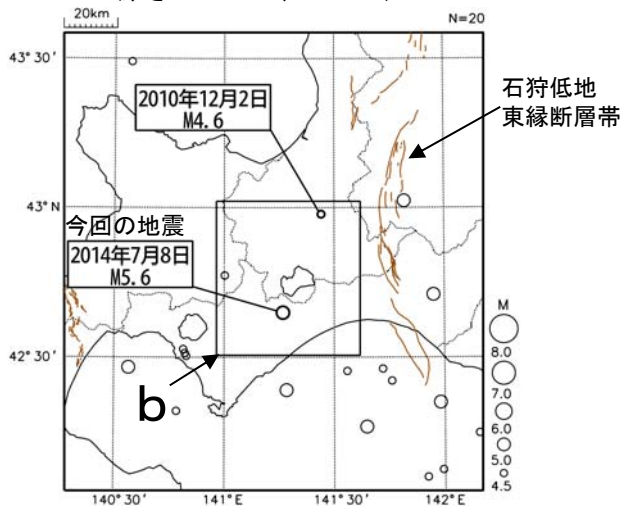


図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

上図の矩形領域内の拡大図
(2001年10月1日～2014年7月31日、
深さ0～15km、M \geq 1.5)
2014年7月の地震を濃く表示



震央分布図
(1923年1月1日～2014年7月31日、
深さ0～60km、M \geq 4.5)



図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

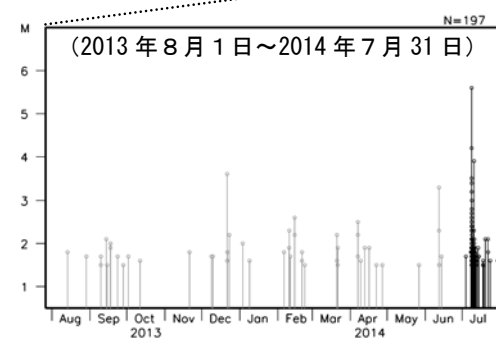
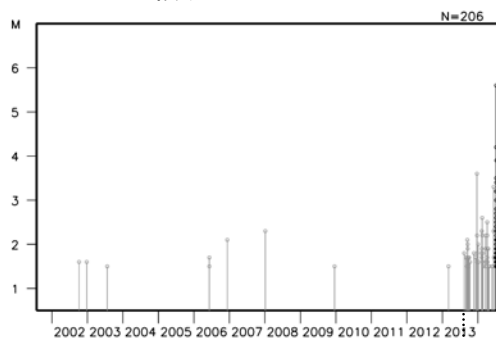
情報発表に用いた震央地名は〔石狩地方南部〕である。

2014年7月8日18時05分に胆振地方中東部の深さ3kmでM5.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、負傷者3人などの被害を生じた(北海道による)。10日までに震度1以上を観測する余震が7回(その最大は7月8日18時06分、M4.2、最大震度3)発生したが、その後地震回数は減少している。

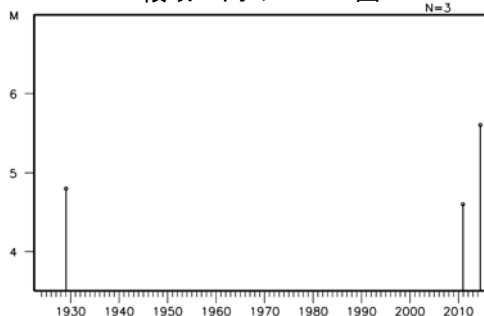
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2013年8月からM2～3程度の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、2010年12月に石狩地方中部で発生したM4.6の地震(最大震度3)により、ガラスのひび割れ、天井の亀裂、斜面の崩れなどの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図

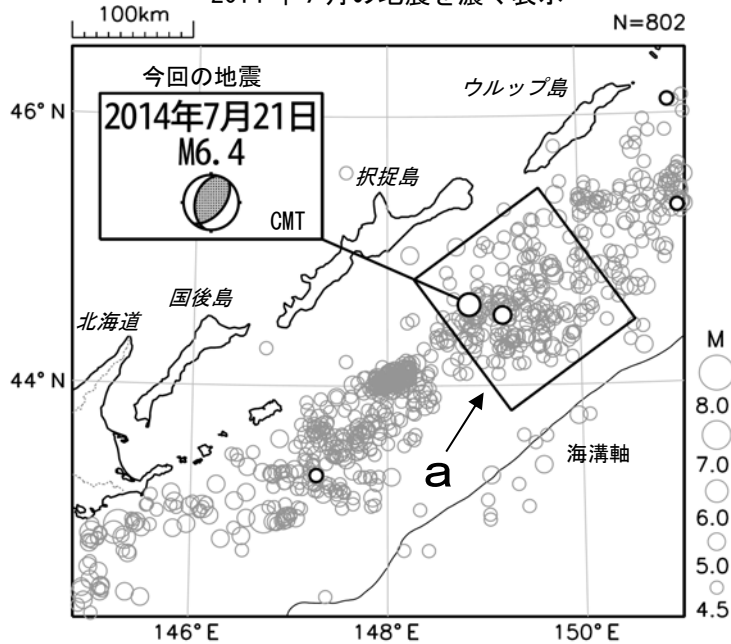


領域b内のM-T図

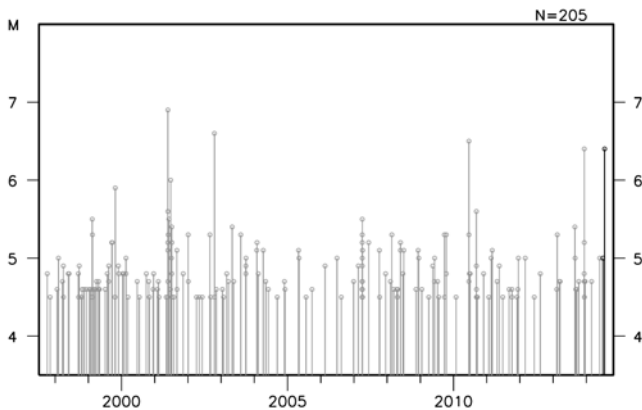


7月21日 択捉島南東沖の地震

震央分布図(1997年10月1日~2014年7月31日、
深さ0~60km、 $M \geq 4.5$)
2014年7月の地震を濃く表示



領域a内のM-T図

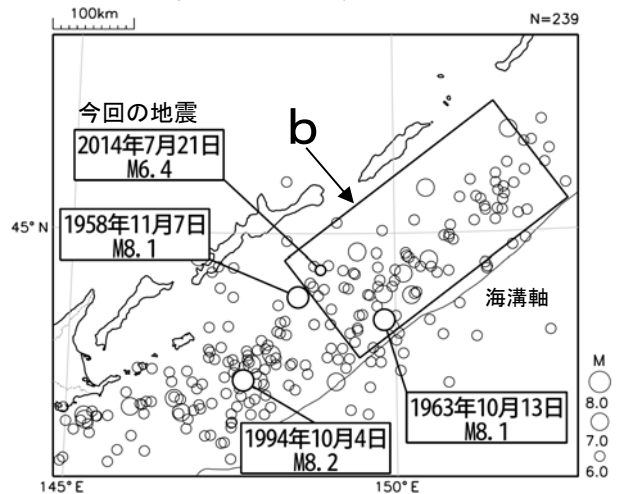


2014年7月21日03時32分に択捉島南東沖でM6.4の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M6.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1963年10月13日のM8.1の地震(最大震度4)では、津波により三陸沿岸で軽微な被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)ほか、根室市花咲で高さ74cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測した。

震央分布図
(1923年1月1日~2014年7月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図

